

2025年3月期 第2四半期
決算説明会

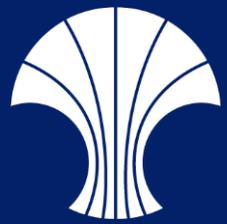


**SERENDIP
HOLDINGS**

セレンディップ・ホールディングス株式会社

証券コード 7318

2024年11月12日



Index

1. 決算概要・業績見通し
2. トピックス

【2025年3月期 第2四半期】 連結業績サマリ

- 売上高は、第2四半期で**過去最高を更新**
- 営業利益と経常利益は、前期第2四半期にインベストメント事業(FA)で大型、高収益案件により前年同期比減益
- 受取配当金及びエネルギーのコスト増に対応する販売価格の修正等により経常利益は増加
- 当期純利益は、法人税等調整額の正常化に伴い前年同期比減益

売上高

9,795百万円

前年同期比 **+3.2**pt
前年同期 9,493百万円

営業利益

291百万円

前年同期比 **-26.7**pt
前年同期 397百万円

経常利益

397百万円

前年同期比 **-15.3**pt
前年同期 469百万円

親会社株主に帰属する 当期純利益

177百万円

前年同期比 **-53.0**pt
前年同期 378百万円

【2025年3月期 第2四半期】セグメント売上高およびセグメント利益の状況

- 企画開発型モノづくりのアパックスが好調。モノづくり事業は順調に進捗。

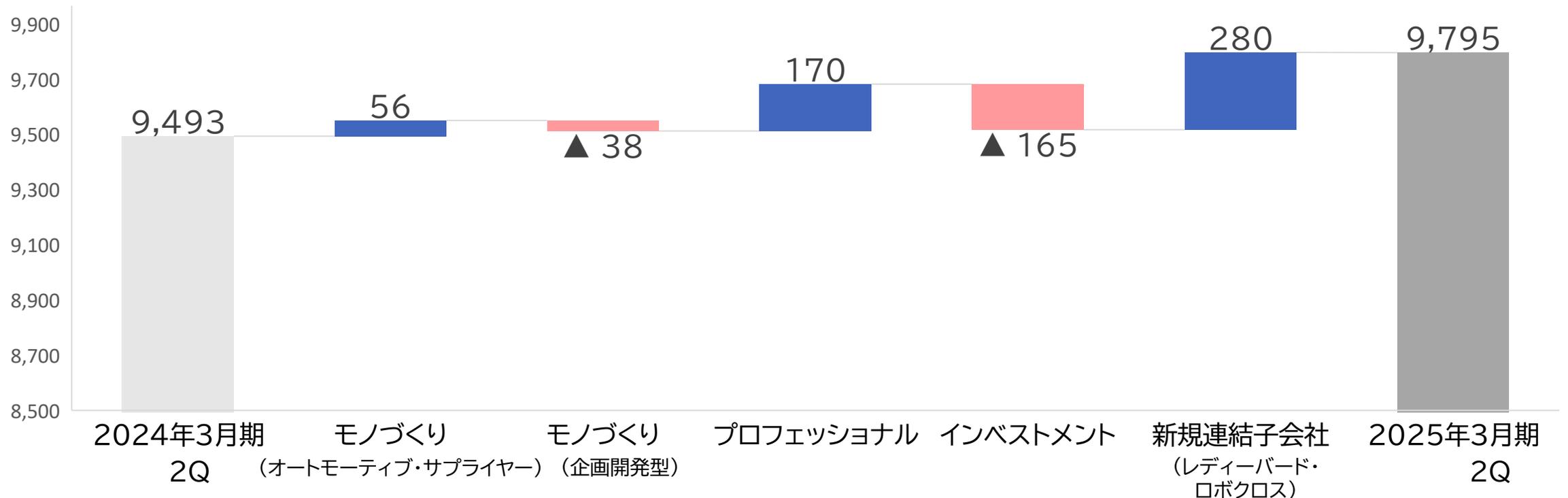
	(単位:百万円)	売上高			営業利益		
		2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比	2024年3月期 2Q	2025年3月期 2Q	前年同期比
モノづくり事業		8,801	9,088	+3.3%	338	320	-5.4%
オートモーティブサプライヤー		7,351	7,407	+0.8%	327	244	-25.4%
佐藤工業		2,554	2,492	-2.4%	79	-5	-
三井屋工業		4,797	4,915	+2.5%	248	249	+0.4%
企画開発型モノづくり		1,450	1,683	+16.1%	-1	116	-
天竜精機		727	428	-41.1%	-29	-99	-
アパックス		724	987	+36.3%	28	155	+453.6%
レディーバード		-	268	-	-	60	-
プロフェッショナル・ソリューション事業		674	906	+34.4%	-76	-39	-
セレンディップ・ホールディングス		402	536	+33.3%	-73	-23	-
セレンディップ・テクノロジーズ		345	440	+27.5%	9	21	+133.3%
セレンディップ・ロボクロスマーケティング		-	11	-	-	-3	-
インベストメント事業		240	94	-60.5%	136	11	-91.8%
セレンディップ・フィナンシャルサービス		240	94	-60.5%	136	12	-90.8%

(注)個別業績については内部売上高又は振替高を含んでいるため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

連結売上高増減分析

- モノづくり事業（オートモーティブサプライヤー）：自動車メーカーの国内生産は引き続き高水準で推移
- モノづくり事業（企画開発型）：天竜精機において半導体メーカーの設備投資の変更や延期の影響
- プロフェッショナル・ソリューション事業：人員増強に伴う増収及びITコンサルティングサービスへの旺盛な需要により増収
- 当期において、レディーバード、セレンディップ・ロボクロスマーケティングの2社が新規で連結

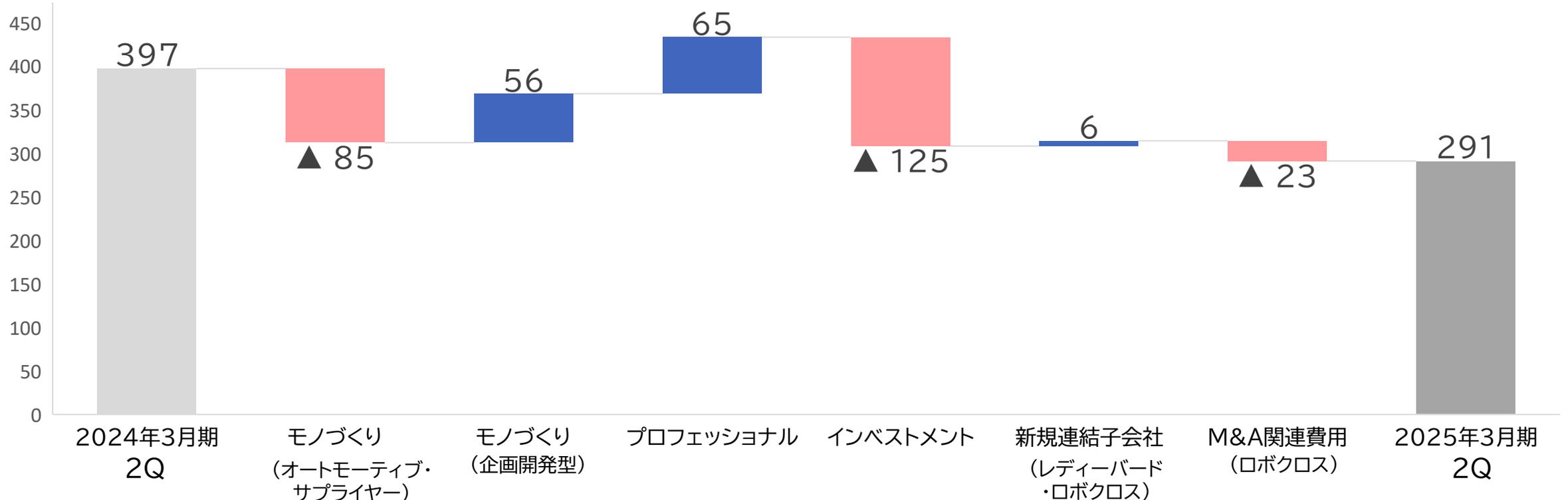
(単位:百万円)



連結営業利益増減分析

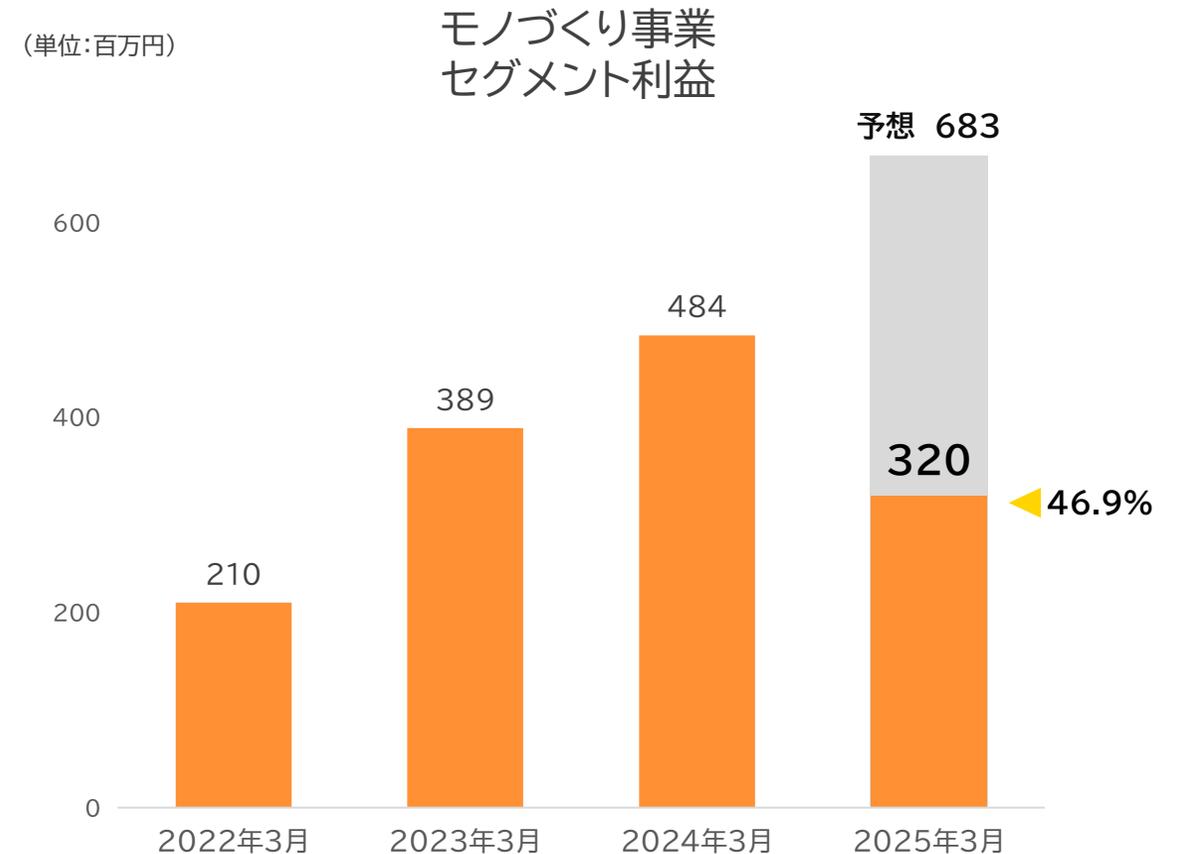
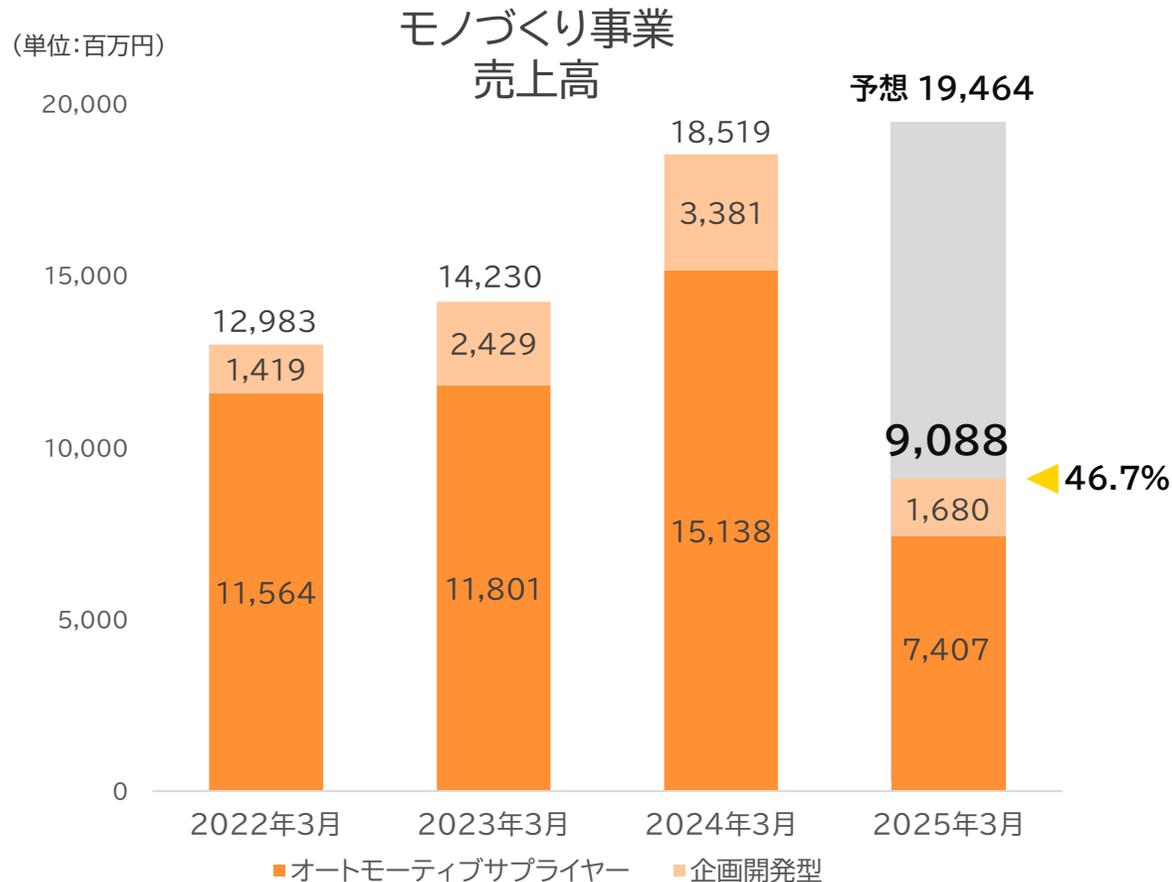
- モノづくり事業（オートモーティブサプライヤー）：佐藤工業において内製化によるコスト増が継続
- モノづくり事業（企画開発型モノづくり）：アパックスにおいて新規顧客獲得による増収に伴い増益
- プロフェッショナル・ソリューション事業：増収に伴い大幅な増益
- インベストメント事業：前年は大型・高収益案件があったため前年同期比減益

(単位:百万円)



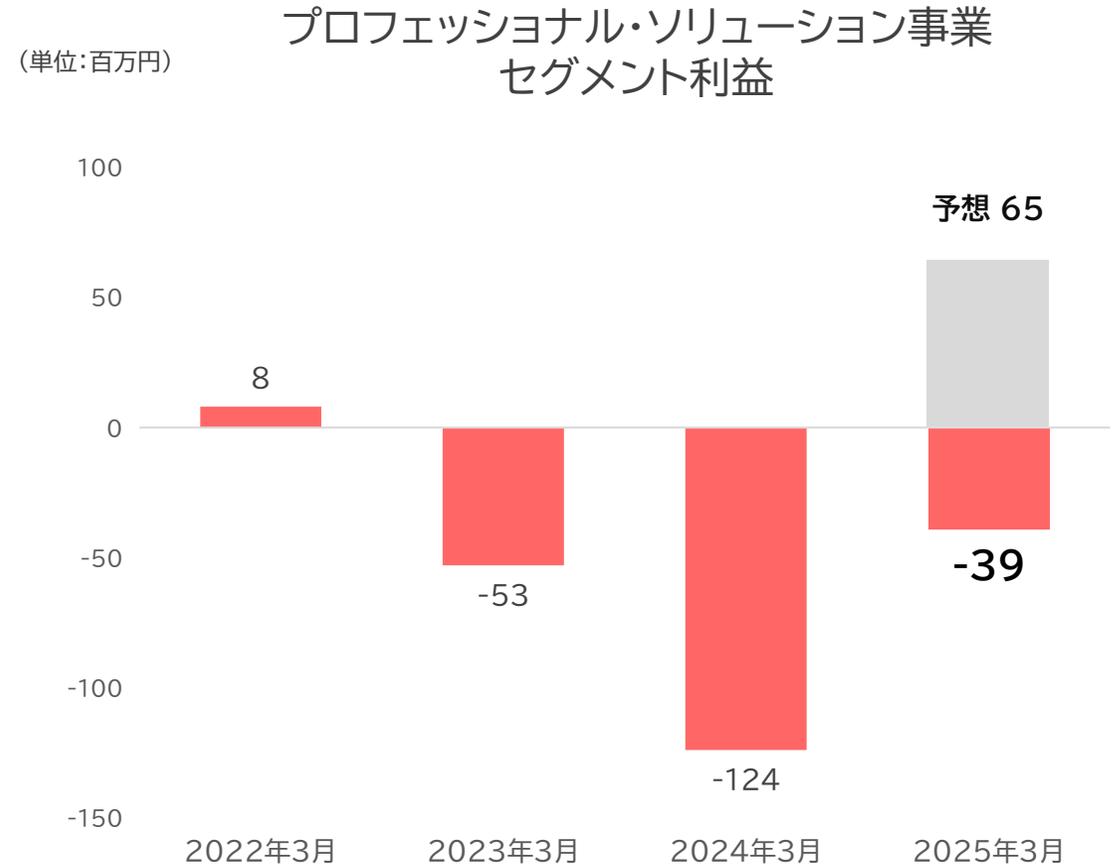
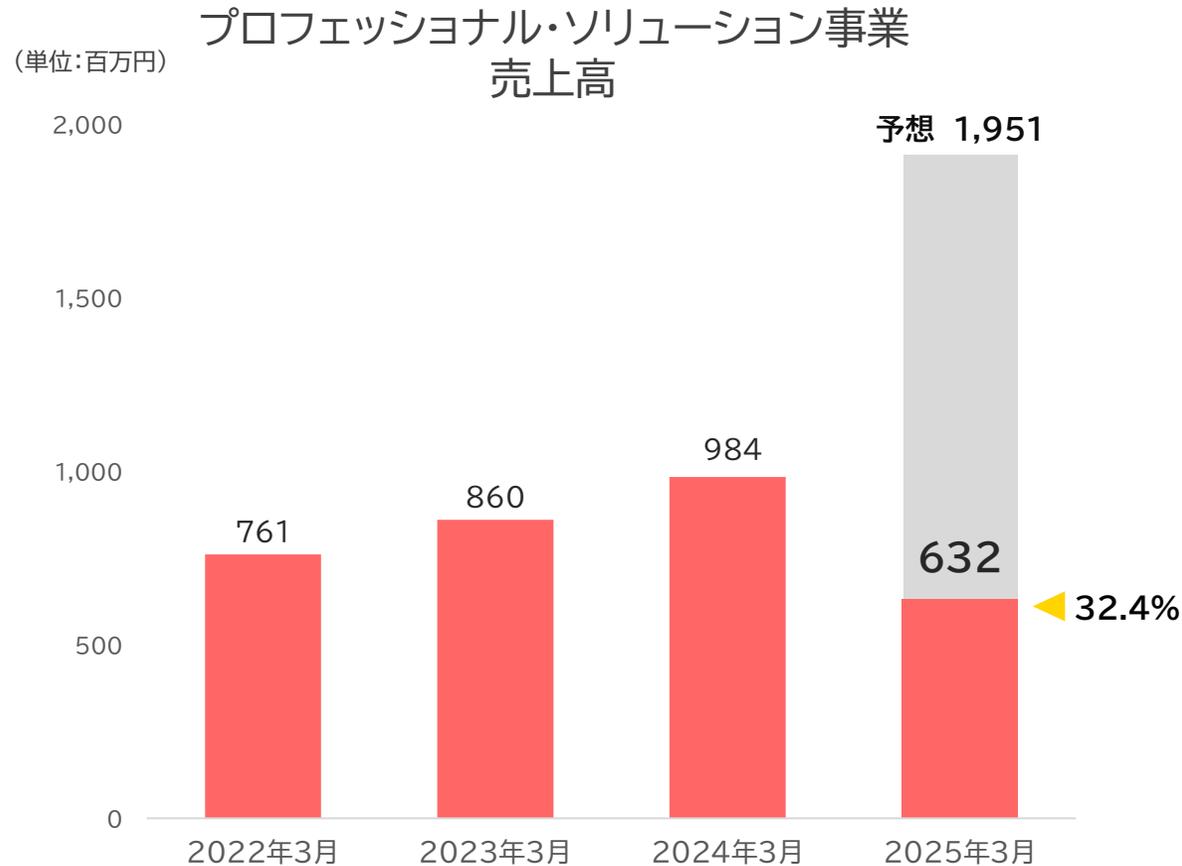
【モノづくり事業】業績推移と進捗状況

- オートモーティブサプライヤーでは、自動車メーカー国内生産は高水準で推移しているものの、一部車種の生産・出荷停止の影響、及び佐藤工業での内製化によるコスト増が継続
- 企画開発型では、天竜精機が半導体メーカーの設備投資の変更や延期の影響を受けるも、アパックスが新規顧客の開拓が進み予算を上振れて進捗しており、モノづくり事業全体では予算通り進捗



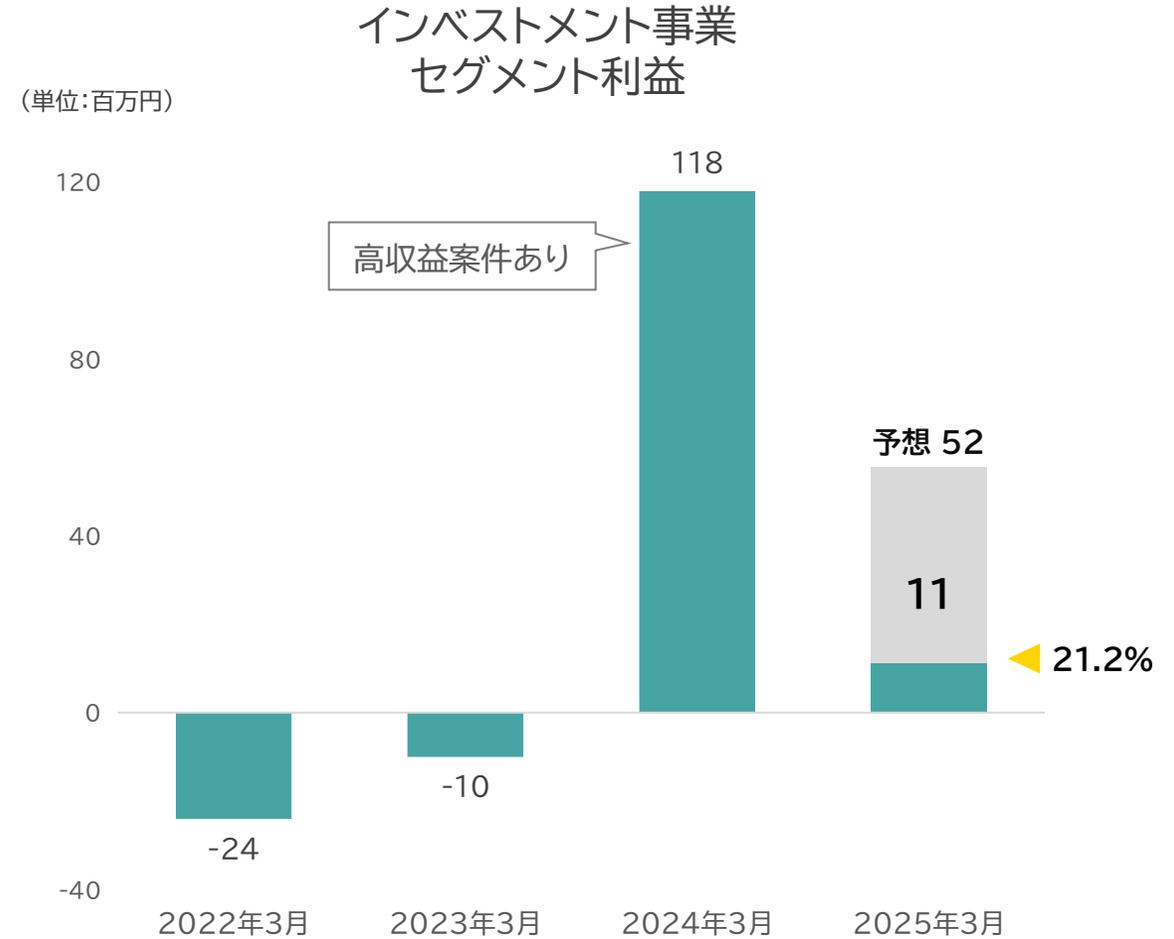
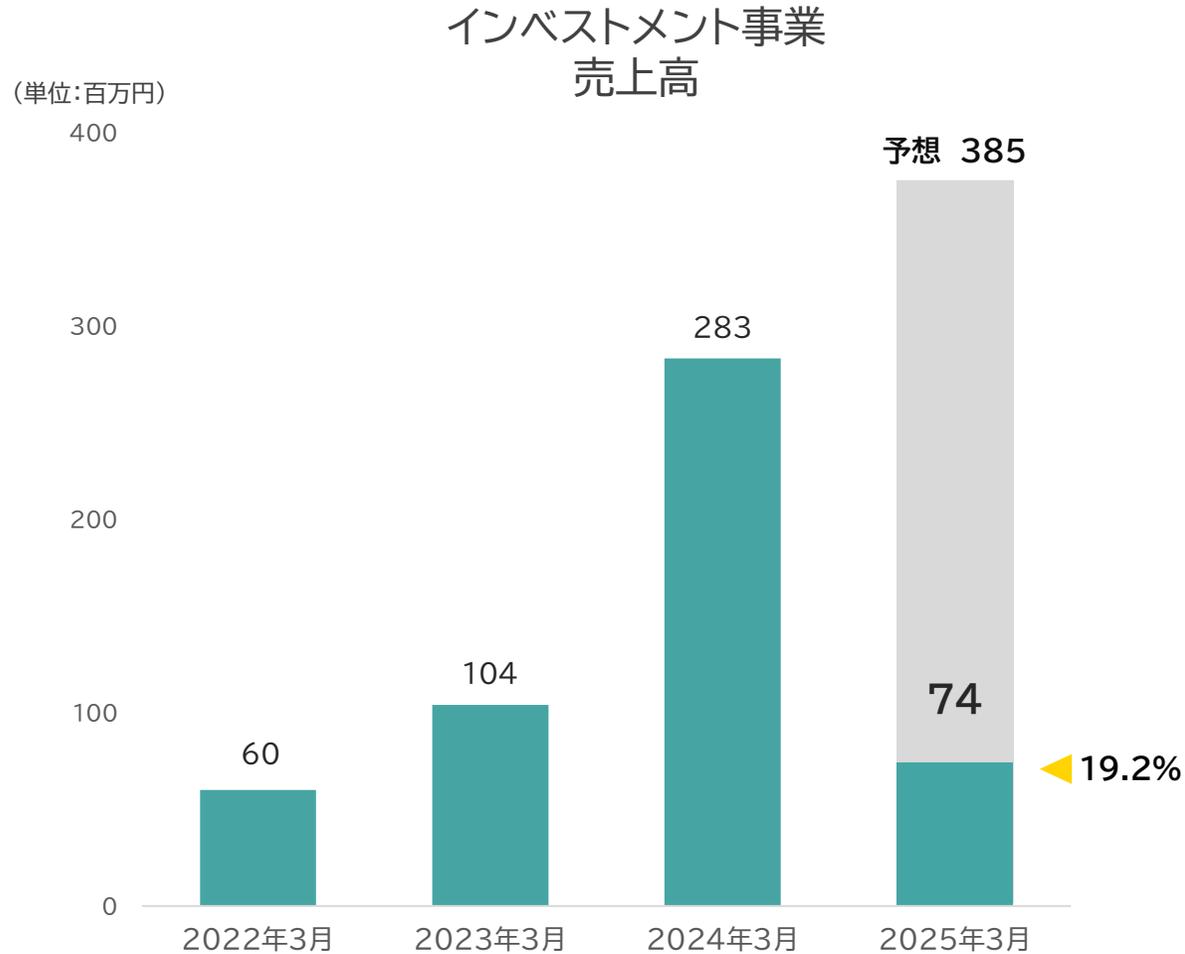
【プロフェッショナル・ソリューション事業】業績推移と進捗状況

- エンジニア派遣(セレンディップ・テクノロジーズ)及び ITコンサルティングは、人員増強及び旺盛な需要により計画どおり進捗中
- RX(ロボット・トランスフォーメーション)は、当初予定より売上計上が後ずれするも、受注は積み上がっており、第3四半期以降売上・収益に貢献見込み



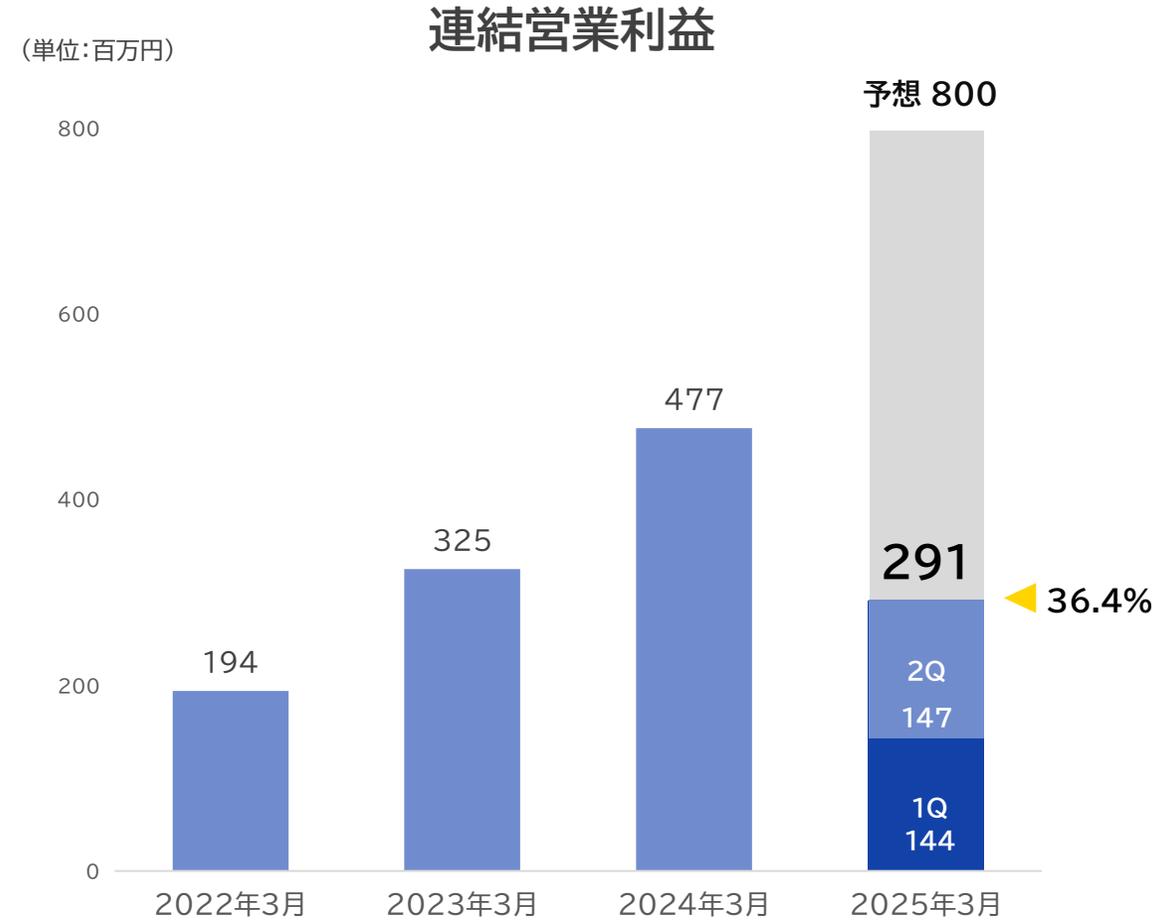
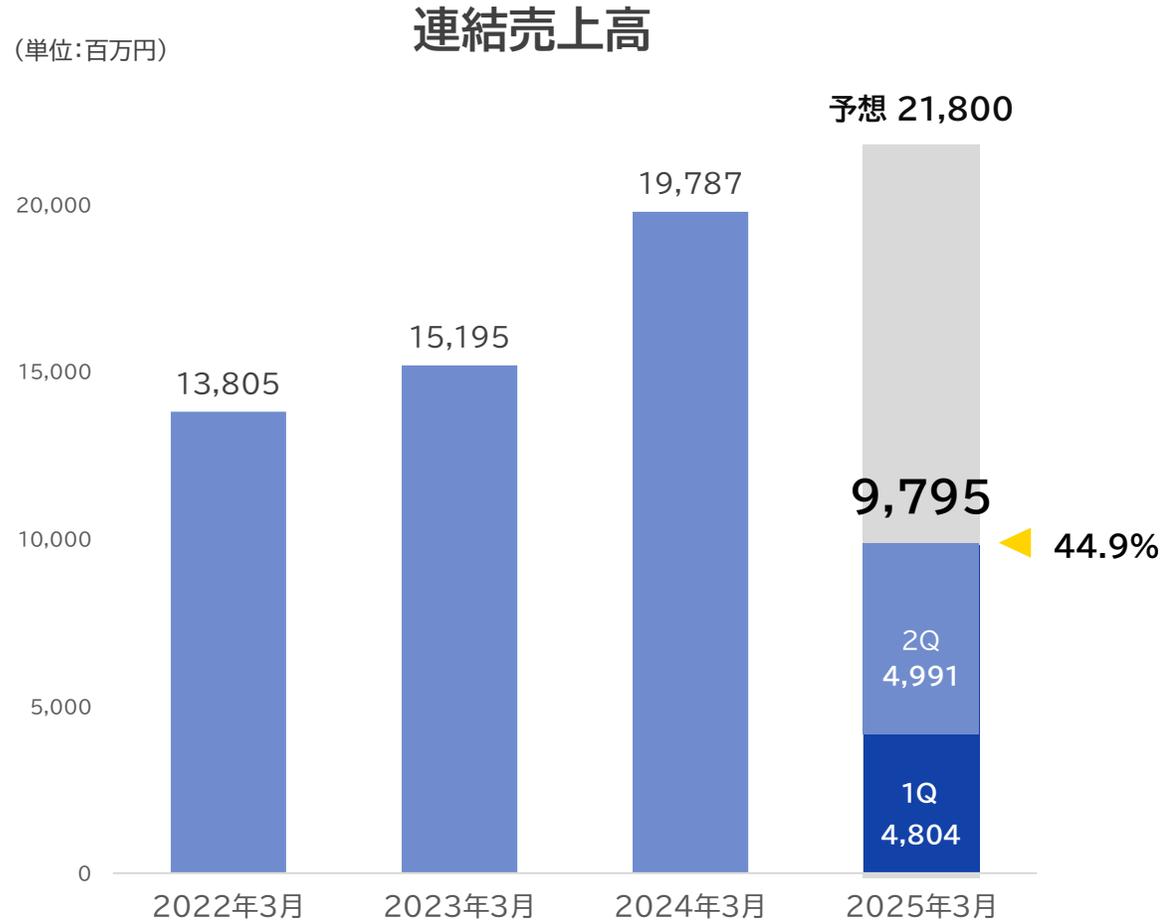
【インベストメント事業】 業績推移と進捗状況

- 売上高: 上期の進捗は19.2%に留まるものの、アドバイザリー案件のパイプラインは順調に積み上がっており、第3四半期以降に売上計上の見込み



連結業績推移および進捗状況

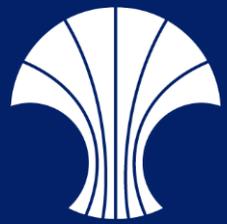
- 佐藤工業の内製化、天竜精機における半導体メーカーの設備投資の変更や延期、RXの売上計上後ずれはあるものの、売上高、営業利益ともに概ね予算通りの進捗
- 新規M&A(イワキ・エクセルグループ)の影響に関しては、現在精査中



連結貸借対照表サマリ

- 「その他有価証券評価差額金」が722百万円減少したことにより、自己資本比率は▲0.7pt

(単位:百万円)	2024年3月期末	2025年3月期2Q	増減額
総資産	20,271	18,942	-1,329
流動資産	9,198	8,673	-524
固定資産	11,073	10,268	-805
負債	14,112	13,299	-812
流動負債	7,590	6,889	-700
固定負債	6,522	6,410	-111
純資産	6,159	5,642	-517
自己資本比率	30.4%	29.7%	-0.7pt



Index

1. 決算概要・業績見通し
2. トピックス

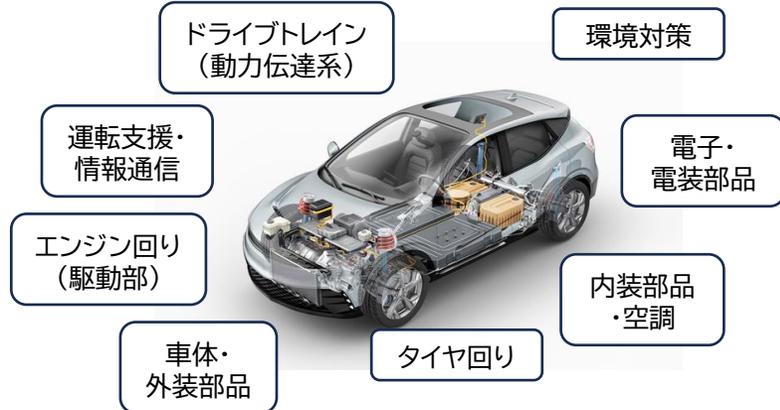
トピックス | ロールアップ型M&Aにより、モノづくり3社を連結子会社化

1. 単品売りから、機能・技術を軸に総合提案できる体制へ移行

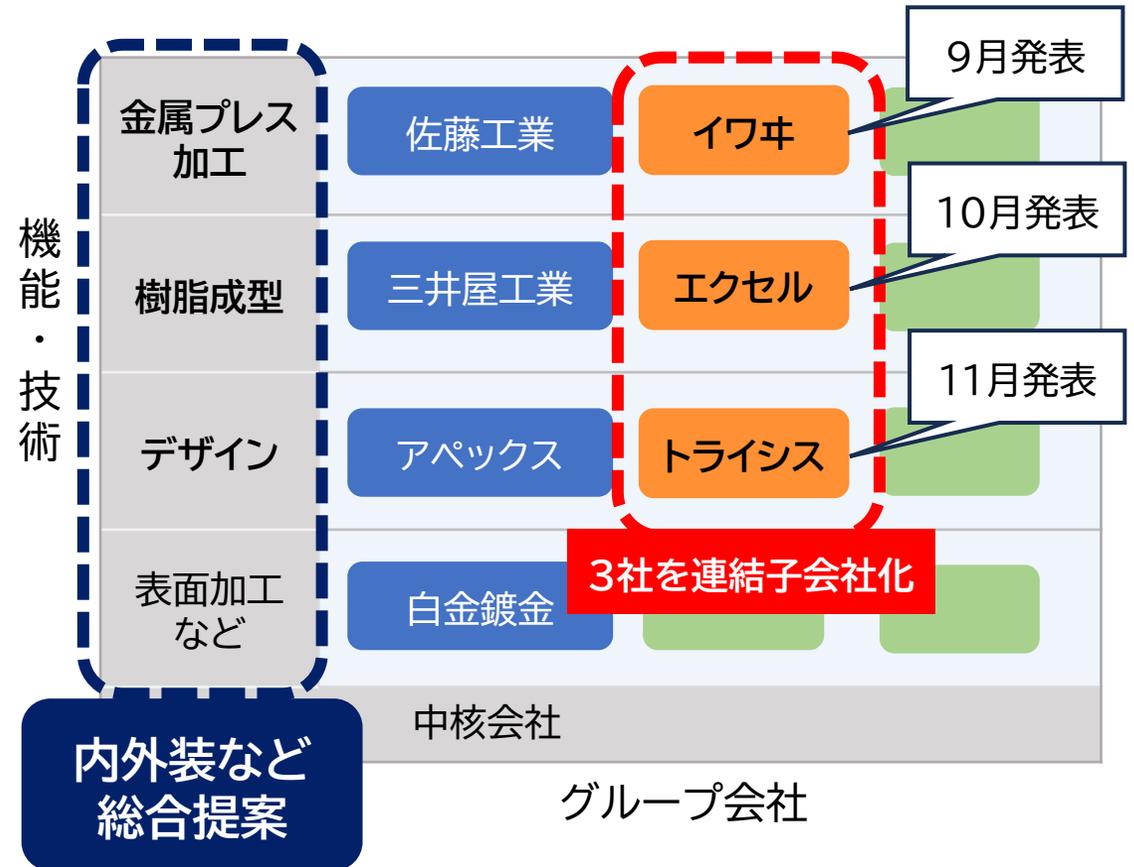
単品売り



総合提案へ移行



2. 機能・技術を軸としたロールアップ型の事業承継M&Aを志向



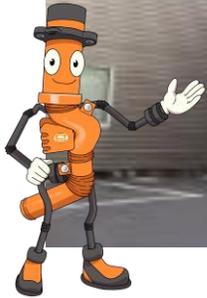
エクセルの子会社化について



**SERENDIP
HOLDINGS**

2024年10月23日発表

エクセル・グループ 概要



エクセル・グループは、高い設計(形状)自由度、性質の異なる樹脂材料の一体成形を特徴とする3次元ブロー成型をコア技術として、主に自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造をグローバルに行っております。その歴史は50年以上に及び、他社の追随を許さない高い技術力・開発力を有しております。

エクセル・グループの概要

代表者	代表取締役 中川 剛太
本店所在地	東京都中央区京橋2丁目10番2号 め利彦ビル南館7階
設立	1970年
従業員数	約450名 (2024年3月末)
売上高	11,184百万円 (2024年3月期)
事業内容	自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造
主要取引先	トヨタ自動車株式会社/いすゞ自動車株式会社/日野自動車株式会社/株式会社SUBARU/日産自動車株式会社 三菱自動車工業株式会社/マーレジャパン株式会社 等
グループ会社 国内 5社 海外 4社	エクセルホールディングス株式会社、エクセル株式会社、株式会社エクセル製作所、株式会社エクセルエンジニアリング、株式会社エクセル・ロジスティクス 〈海外拠点〉 EXCELL USA, INC.(北米)、 THAI EXCELL MANUFACTURING Co., Ltd(タイ) 等



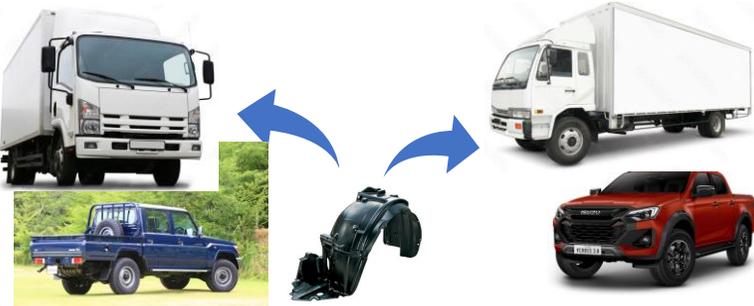
三井屋工業×エクセルで創り出す3つのシナジー効果

- 樹脂成型により軽量で静音性能に優れた自動車内外装品を開発製造する三井屋工業との親和性は高く、シナジー効果が期待できる

想定されるシナジー効果

1. トラックメーカー等への拡販

エクセルが得意とするトラックやピックアップトラックメーカーへ、三井屋工業の自動車内外装部品を拡販



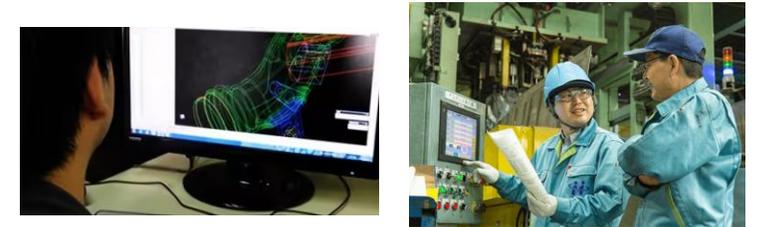
2. 樹脂材料の共同購買



原材料となる樹脂材料を共同購買することによるコスト削減

3. 新規技術・製品の共同開発

EVで期待される静音性能に優れ快適な車内空間を実現する、新たな技術・製品の共同開発



海外生産拠点を有するエクセルのグループ参加で、当社のグローバル化は非連続的に進化

北米・タイに生産拠点

1. インド・インドネシアへの物流に適した立地
2. 豊富で優良な顧客との取引実績

エクセル・グループのグローバルな生産体制基盤を活用した、自動車内外装品をはじめとする、セレンディップ・オートモーティブサプライヤーの海外販路拡大

セレンディップ・オートモーティブサプライヤー



セレンディップ・チャレンジ500の成長戦略『海外進出』を大きく推進する起点へ



アメリカ現地法人



タイ現地法人

イワキの子会社化について



**SERENDIP
HOLDINGS**

2024年9月4日発表

株式会社イワ中 概要



株式会社イワ中の概要

代表者	代表取締役社長 植村 達司
本店所在地	三重県津市芸濃町棕本2360番地
設立	1964年 3月 5日
資本金	15,000千円
従業員数	182名 (2024年1月末)
売上高	7,166百万円 (2024年3月期)
事業内容	自動車金属部品製造 (プレス・溶接加工)
主要取引先	豊田鉄工株式会社、株式会社タチエス、株式会社三五、日本発条株式会社、株式会社エイチワン など

ハイテン材(高張力鋼)を材料とした自動車のボディ・シート用の部品を製造し、安定供給しています。付加価値向上のため溶接も行っています。

電動化の潮流の中で軽量化が進む自動車部品業界において、ハイテン材加工に有利な大型プレス機の豊富なラインナップが特長です。

金属プレス加工分野でのロールアップ型M&A

- 自動車部品の金属プレス加工を主力事業とする佐藤工業との類似性、親和性が高く、シナジー効果が期待できる

M&Aによるユニークな保有設備と技術の獲得



佐藤工業が保有するプレス機の生産能力

25t	30t	35t	60t	110t	150t	160t	250t	300t	400t	500t
-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------

① 大型プレス機は電動化で重視される
高張力鋼材(ハイテン材)加工にアドバンテージ

イワキが保有するプレス機の生産能力

150t	300t	400t	600t	800t	1050t	1500t
------	------	------	------	------	-------	-------

② 佐藤工業とイワキでは保有設備のサイズが異なり
両社でのカバー領域が拡大

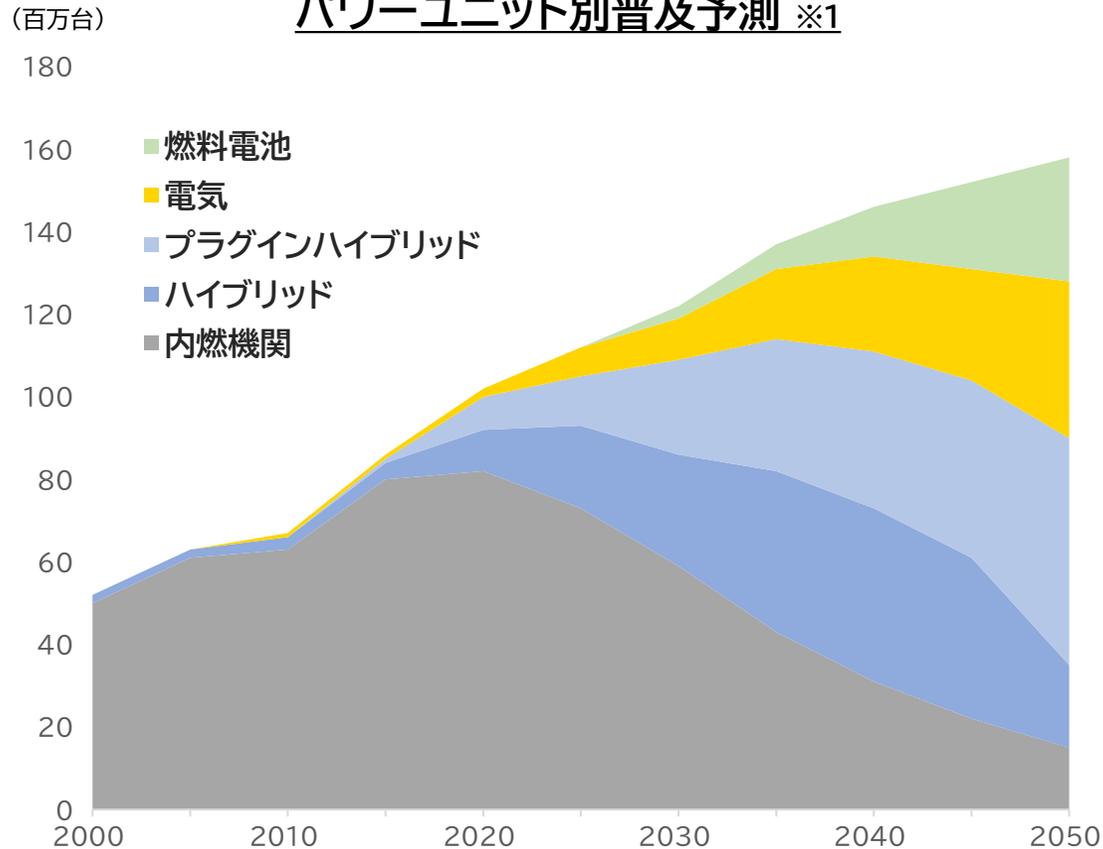


自動車の電動化に負けない製品ラインナップを拡充

- 自動車業界ではEV化が進行するが、伊ワ車のM&Aにより電動化に負けない製品ラインナップを拡充

進むEV

パワーユニット別普及予測 ※1



※1 IEA・ETPF「2022年版中小企業白書」をもとに当社作成

電動化に負けない伊ワ車の製品ラインナップ

主な製品は、乗用車向けのシート部品及びボデー部品



1. 自動車のシート、ボデー部品中心のため、電動化に左右されにくい
 2. 600t以上の大型プレス機は軽量化・高剛性化に優れたハイテン材の加工に最適
- ➡ イワ車と佐藤工業のリソースを組み合わせ、電動化で需要が高まる軽くて強いボデー部品をグループ一体で拡販

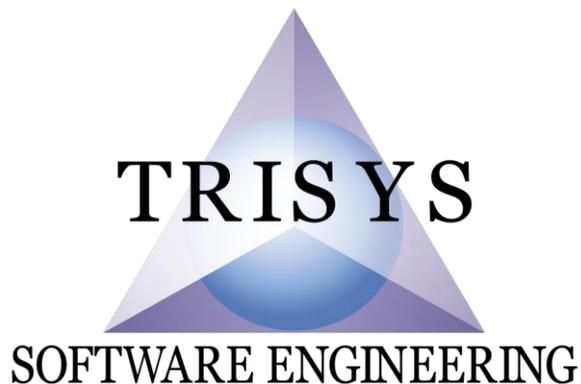
トライシスの子会社化について



**SERENDIP
HOLDINGS**

2024年11月5日発表

株式会社トライシス 概要



株式会社トライシスは、コンシューマーゲームの受託開発会社として設立し、30年に渡りゲーム開発を行っている。

アプリゲーム、コンシューマーゲーム、玩具製品など様々なIT分野のものづくりを手掛けている。

デジタルコンテンツ構築のため、車載HMI開発に必要なUnity技術者など豊富なプログラマーが在籍。

株式会社トライシスの概要

代表者	代表取締役社長 加藤 潔
本店所在地	北海道札幌市豊平区平岸2条6丁目1-14三慶ビル4F
設立	1994年9月
資本金	1,500万円
従業員数	約20名（2024年6月末）
売上高	107百万円（2024年6月期）
事業内容	ゲーム・アプリ・電子玩具等IT業務の受託開発

付加価値の高い車載HMI開発領域でのロールアップ型M&A

- アペックスの自動車を中心とする顧客基盤と、トライシスが有するゲームアプリ開発技術を双方に活用することでシナジー効果が期待される

車載HMIと制御開発の
需要増加により人員が不足



プログラミングの技術力が
高い人材を有する



早期にシナジー効果を発現

高付加価値(車載HMI開発)への対応

国内大自動車メーカー、自動車部品メーカー、建機メーカー等からの車載HMI※開発需要に応えるための技術者を確保



※HMIとは人間と機械が情報をやり取りする際に伝達を担う部分の総称

外注業務の内製化と技術・ナレッジの獲得および蓄積

- プログラミング、アプリ開発需要増大に備えた体制準備
- 顧客要求に対し柔軟に対応できる制作環境獲得
- ニアショアにおける人材確保の基盤の構築



事業承継のトータルソリューションカンパニーとして3つの事業を展開

①モノづくり事業

売上高 185億円
従業員数 482名

DX(デジタルトランスフォーメーション)とR&D(研究開発)で、中堅・中小製造業の「経営の近代化」を推進

- ・天竜精機 (ファクトリーオートメーション装置製造)
- ・佐藤工業 (オートマ機能部品製造)
- ・三井屋工業 (自動車内外装部品製造)
- ・アペックス (開発段階における試作品製作・デザイン)
- ・レディーバード (業務用美容器開発・製造・販売)
- ・株式会社イワ中 (自動車のボディ・シート部品の金属加工メーカー)※2024年10月グループイン
- ・エクセルグループ(自動車部品ダクト等の樹脂成型品の開発・製造)※2024年12月グループイン
- ・株式会社トライシス(ゲーム・アプリ・電子玩具等IT業務の受託開発)※2024年10月グループイン

②プロフェッショナル・ソリューション事業

売上高 14億円
従業員数 147名

プロ経営者やコンサルタント等のプロフェッショナル人材が、中堅・中小製造業が抱える経営課題・技術的課題に対するソリューションを提供

- ・セレンディップ・ホールディングス (プロ経営者派遣、コンサルティング)
- ・セレンディップ・テクノロジーズ (設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発)
- ・セレンディップ・ロボXマーケティング (協働ロボット販売・レンタル)

③インベストメント事業

売上高 2.8億円
従業員数 10名

中堅・中小企業への投資やフィナンシャル・アドバイザーで、中堅・中小企業の円滑な事業承継と企業価値向上を実現

- ・セレンディップ・フィナンシャルサービス (プリンシパル投資(自己資金投資)、フィナンシャル・アドバイザー、ファンド運営)

(注)売上高:2024年3月期、従業員数:2024年3月末時点

Contact Us



<https://www.serendip-c.com/>



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



会社概要



社名	セレンディップ・ホールディングス株式会社 SERENDIP HOLDINGS Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長兼CEO 竹内在
本社所在地	愛知県名古屋市中区錦一丁目5番11号 名古屋伊藤忠ビル
設立	2006年8月
資本金	11億4273万円(2024年9月末現在)
株式公開市場	東京証券取引所 グロース市場 証券コード:7318
従業員数	単体 56名(2024年9月末現在) グループ全体 650名(2024年9月末現在)
決算月	3月

Disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。